



みまっぱ子育て通信 第1号

2021年2月4日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>

1歳児の親子ひろば「めばえ」

はじめまして。親子ひろば「めばえ」です。新型コロナウイルスの影響により、親子ひろばの開催を見合わせておりましたが、この度、1歳児の子ども達と保護者の方にゆったりと過ごして頂きたいと思い、少人数のひろばを開催いたしました。感染予防対策を行いながら、地域の子育て広場としての役割を担えるよう、今後も春以降の開催を計画しております。どなたでも参加できますので、また是非遊びにいらしてください。

「めばえ」の流れ

開催日 不定期

今後の予定につきましては本学HPなどに掲載予定です。

10時～

お部屋で自由あそび

玩具を用いた発達に応じたあそび

10時45分頃～11時

わらべうた&読み聞かせ

場所：美作大学附属幼稚園

美作大学・美作大学短期大学部と美作大学附属幼稚園の教員2名が常駐し、1歳児の遊び環境の中、子ども達の主体的な遊びを見守り、子どもの発達に関する相談に応じます。本学学生が、ボランティアで参加します。

子育てメッセージ

「子ども時代の『遊び』が学びの基礎に」

幼い子ども達が、目を輝かせ楽しく夢中になって遊んでいる時、自ら興味・関心を持って遊んでいる時、そんな時こそ、様々な力を心と体で吸収しています。今、その「遊び」が「学び」として位置付けられています。

遊びの中で子ども達は、「突き出た脳」といわれる、手と足、そして全身を使って、環境を探索し、環境の性質（色、形、安全or危険、重さなど）を知ろうとします。「これ、なんだろう？」「じぶんでやってみたい！」など不思議に思ったり、ひらめいたりしている表情やしぐさは格別。大人に指示されなくても、子ども達の中で何かが動き、考え、環境に合わせた体や心の動かし方を学習している大切な瞬間です。

発達に応じた玩具や自然物を使った遊びの中で、ひとつひとつの動作を獲得し、心、体、そして脳の健やかな成長を育んでほしいと願います。子ども達が、洋服に手を通す、スプーンやお箸を持つ、鉛筆を持つなど、将来の大切な基本動作が、小学校以降の学習や生活に繋がっています。毎日の楽しい遊びの中で、学びの引き出しが増えるといいですね。

参考：文部科学省「第一章 子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の方向性」

*このコーナーでは大学の教員が、保育の専門的視点から子育てに関するメッセージをお届けします。

ぽっとん落とし



おおむね1歳児からの 手作り玩具

子ども達が自分の力で、はいはいやお座りを安定してできるようになる頃、同時に手指は、「指でつまむ」「穴に入れる」「両手を使う」などの機能が発達します。この玩具での遊びから、片手で物をつかむ、両手で物をささえる、指先の役割を使い分けるなど、ひとつの玩具から多くのことを学んでいます。

2021年2月4日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>

【作り方】

タッパーの蓋にカッターナイフやはさみで穴（丸や四角など）をあけ、切り口をビニールテープで養生します。その中に、ペットボトルの蓋を組み合わせた物、厚紙にフェルトを貼った物、ホースを切った物、チェーンなどを入れて遊びます。材料は、ご家庭にある物や100円ショップで揃います。穴の大きさや入れるものの大きさは、年齢によって工夫してください。誤飲にはくれぐれもご注意ください。



ペットボトルの蓋 ホースを切ったもの



ホース



ネームホルダー



チェーン



段ボールの両面に、フェルトを縫ったもの

玩具「ぽっとん落とし」

タッパーの穴に入れる材料例